

大学番号 065

注3

意見伺い (JD)

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

広島大学大学院 先進理工系科学研究科 広島大学・ライフサイエンス国際連携サステイナビリティ学専攻

注2

【事前伺い (JD)】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人広島大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 財務・総務室財務・総務部総務グループ

職名・氏名 シュン キタ ヨウコ
主任・北 陽子

電話番号 082-424-6014

(夜間) 082-424-6014

e-mail soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

先進理工系科学研究科

＜広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステナビリティ学専攻＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4. 既設大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	37
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人広島大学

【連携外国大学の設置者】ドイツ連邦共和国ザクセン州

(2) 大学名

広島大学

【連携外国大学の名称】

Leipzig University (Universität Leipzig)

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-8529

広島県東広島市鏡山一丁目5番1号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

【連携外国大学の本部の位置】

Ritterstraße26 04109 Leipzig, Germany

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(タカタ トシカズ) 高田 十志和 (令和2年4月)		
専攻長	(フジワラ アキマサ) 藤原 章正 (令和2年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和3年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
先進理工系科学研究科 広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻 (修士課程) 修士(学術)	工学関係	2年	2人 <449>	年次 人 -	4人 <898>		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ < >内の数字は、母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	10月入学	その他の学期	10月入学	その他の学期	10月入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 2 () []	人 () []	人 2 () []	人 () []	1.00倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	9 () []	- () []	10 () []	- () []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	9 () []	- () []	10 () []	- () []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2 () []	- () []	2 () []	- () []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	2 () []	- () []	2 () []	- () []			
入学定員超過率 B/A									1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
- (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	10月入学	その他の学期	10月入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [2] (-)	- [-] (-)	2 [2] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	/		1 [1] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()			/		/
4年次	/				/		/				
計			[] ()	[] ()					[] ()	[] ()	2 [2] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
 - (例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	2人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	4人	1人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	1人	[家庭の事情、新型コロナウイルス感染症の流行により渡日の目途が立たないため。1人]
			令和3年度	0人	0人	
合計		1人				

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<先進理工系科学研究科 広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステナビリティ学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える		1・2 ①②④	広島大学	1								兼5
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace		1・2 ②	広島大学	1		1						兼6
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health		1・2 ④	広島大学	1								兼6
	ダイバーシティの理解		1・2 ②	広島大学	1								兼4
	データリテラシー		1・2 ①②④	広島大学	1								兼2
	医療情報リテラシー		1・2 ③	広島大学	1								兼9
	人文社会系キャリアマネジメント		1・2 ②③	広島大学	2								兼1
	理工系キャリアマネジメント		1・2 ②	広島大学	2								兼1
	ストレスマネジメント		1・2 ②④	広島大学	2								兼1
	MOT入門		1・2 ①③	広島大学	1								兼1
アントレプレナーシップ概論		1・2 ①	広島大学	1								兼1	
小計 (11科目)					0	14	0	1	0	0	0	0	兼35
研究科共通科目	MOTとベンチャービジネス論		1・2 ①②	広島大学	1								兼1
	技術移転論		1・2 ②④	広島大学	1								兼1
	技術移転演習		1・2 ③	広島大学	1								兼1
	データビジュアライゼーションA		1・2 後	広島大学	1								兼1
	データビジュアライゼーションB		1・2 後	広島大学	1								兼1
	環境原論A		1・2 後	広島大学	1								兼1
	環境原論B		1・2 後	広島大学	1								兼1
小計 (7科目)				0	7	0	0	0	0	0	0	兼4	
基礎科目	リサーチメソッド		1 ①③	広島大学	2								兼1
	持続可能な発展論基礎		1後	広島大学	2								兼1
	Regional and Urban Engineering		1・2 ④	広島大学	2		1						
	Fundamentals of Survey Methodology		1・2 ③	広島大学	2								兼1
	Numerical Environmental Impact Assessment I		1・2 ③	広島大学	2		1						
	Geographic Information System Technology		1・2 ③	広島大学	2								兼1
小計 (6科目)				0	12	0	1	1	0	0	0	兼4	
ライプツィヒ大学開設科目	Basics in Economic Sciences		1後	ライプツィヒ大学	5		3						
	Basics in Social Sciences - International Studies		1後	ライプツィヒ大学	5		1	1					
	Basics in Sustainable Development		1後	ライプツィヒ大学	5		3						兼1
	小計 (3科目)				0	15	0	7	0	1	0	0	兼1
大学院共通科目	Environmental Management		1・2 ②	広島大学	2		1	4					兼2
	Development Technology		1・2 前	広島大学	4		1	4					兼3
	Transportation Engineering		1・2 ①	広島大学	2								兼1
	Transportation Planning		1・2 ②	広島大学	2								兼1
	Tourism Policy		1・2 ③	広島大学	2		1						
	Risk Management Technology		1・2 ③	広島大学	2								兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える		1・2 ②③④	広島大学	1								兼10
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	持続可能な発展科目	1・2 ②	広島大学	1		1						兼4
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health		1・2 ④	広島大学	1								兼6
	ダイバーシティの理解		1・2 前	広島大学	1								兼4
	データリテラシー		1・2 ①②③④	広島大学	1								兼4
	医療情報リテラシー		1・2 ③	広島大学	1								兼8
	人文社会系キャリアマネジメント		1・2 ②前後	広島大学	2								兼3
	理工系キャリアマネジメント		1・2 前	広島大学	2								兼1
	ストレスマネジメント		1・2 前④	広島大学	2								兼2
	MOT入門		1・2 ①前後	広島大学	1								兼1
アントレプレナーシップ概論		1・2 ①	広島大学	1								兼1	
小計 (11科目)					0	14	0	1	0	0	0	0	兼42
研究科共通科目	MOTとベンチャービジネス論		1・2 ①②	広島大学	1								兼1
	技術移転論		1・2 ②④	広島大学	1								兼1
	技術移転演習		1・2 ④	広島大学	1								兼1
	データビジュアライゼーションA		1・2 後	広島大学	1								兼1
	データビジュアライゼーションB		1・2 後	広島大学	1								兼1
	環境原論A		1・2 後	広島大学	1								兼1
	環境原論B		1・2 後	広島大学	1								兼1
小計 (7科目)				0	7	0	0	0	0	0	0	兼4	
基礎科目	リサーチメソッド		1 ①④	広島大学	2								兼2
	持続可能な発展論基礎		1後	広島大学	2								兼1
	Regional and Urban Engineering		1・2 ④	広島大学	2		1						
	Fundamentals of Survey Methodology		1・2 ③	広島大学	2								兼2
	Numerical Environmental Impact Assessment I		1・2 後	広島大学	2		1						
	Geographic Information System Technology		1・2 後	広島大学	2								兼1
小計 (6科目)				0	12	0	1	1	0	0	0	兼6	
ライプツィヒ大学開設科目	Basics in Economic Sciences		1後	ライプツィヒ大学	5		2						
	Basics in Social Sciences - International Studies		1後	ライプツィヒ大学	5		1	1					
	Basics in Sustainable Development		1後	ライプツィヒ大学	5		2	1					兼1
	小計 (3科目)				0	15	0	5	0	2	0	0	兼1
大学院共通科目	Environmental Management		1・2 ②	広島大学	2		2	3					兼2
	Development Technology		1・2 前	広島大学	4		2	3					兼5
	Transportation Engineering		1・2 ①	広島大学	2								兼1
	Transportation Planning		1・2 ②	広島大学	2								兼1
	Tourism Policy		1・2 ③	広島大学	2		1						
	Risk Management Technology		1・2 ③	広島大学	2								兼1

専門科目		科目		単位数		履修人数		履修率		履修人数(割合)		履修率(割合)			
Sustainable Architecture A	②	広島大学	2	1											
			Sustainable Architecture B	1・2	①	広島大学	2	1							
			Energy Science and Technology	1・2	①	広島大学	2	1							
			Numerical Environmental Impact Assessment II	1・2	①	広島大学	2	1							
			Botany Resources for the Future	1・2	②	広島大学	2	1							
			Environmental Monitoring	1・2	③	広島大学	2	1							
			Biomass Energy Technology	1・2	③	広島大学	2	1							
			Ecosystem Conservation and Management Science	1・2	③	広島大学	2	1							
			Management and Conservation of Ecosystems	1・2	①	広島大学	2	1							
			演習A	1後		広島大学	2	3	5				兼3		
			演習B	1前		広島大学	2	3	5				兼3		
小計(17科目)	—		0	36	0	3	5	0	0	0		兼4			
International Environmental Cooperation Studies	①	広島大学	2後	2	3	5									
			グローバルインターンシップ	2後	2	3	5								
			Developing Designing Ability	1・2	前	広島大学	2	1						兼1	
			国際協力プロジェクト演習	2後		広島大学	2							兼1	
			国際公務員実務演習A	2後		広島大学	2							兼1	
			国際公務員実務演習B	2後		広島大学	2							兼1	
			International Environmental Cooperation Studies	1・2	①	広島大学	2	1	4					兼6	
			演習C	2後		広島大学	2	3	5					兼3	
			小計(8科目)	—		0	16	0	3	5	0	0	0	兼7	
			Energy Engineering and Management	1前	ライプツィヒ大学	5	2								
						Water Resources Management	1前	ライプツィヒ大学	5	1					
Sustainable Energy Economics	1前	ライプツィヒ大学				5	1								
Land Management	1前	ライプツィヒ大学				5	1						兼1		
Environmental and Biodiversity Economics	1前	ライプツィヒ大学				5	1								
小計(5科目)	—					0	25	0	3	0	2	0	0	兼2	
Integration Module	2後	ライプツィヒ大学				7.5	1								
			Project Management and Communication Skills	2後	ライプツィヒ大学	2.5	1						兼1		
			Material Flow Management	2後	ライプツィヒ大学	2.5	1								
			Sustainability Assessment of the Energiewende	2後	ライプツィヒ大学	2.5	1								
			Modelling in Resources Management	2後	ライプツィヒ大学	5	1						兼1		
			Entrepreneurship Management	2後	ライプツィヒ大学	5	1	1							
			Economics and Natural Resource Use and Conservation	2後	ライプツィヒ大学	5	1								
小計(7科目)	—		0	30	0	5	0	1	0	0	兼2				
修士論文	1～2	広島大学	15	3	5							兼3			
			Master's Thesis	1～2	ライプツィヒ大学	15	9	1	4				兼2		
			小計(2科目)	—		0	30	0	12	6	4	0	0	兼5	
合計(66科目)	—		0	185	0	13	6	4	0	0	兼47				
卒業要件及び履修方法															
(国際連携専攻/連携外国大学の修了要件) 修了に必要な単位数を60単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文及び最終試験に合格すること。															
○修了要件単位数: 60単位 ・そのうち、広島大学から30単位以上、ライプツィヒ大学から30単位以上修得すること ○広島大学をホーム大学とする学生の要修得単位数は以下のとおり															
【広島大学開設科目】															
・ベネシック科目: 12単位以上															
・一大学院共通科目(持続可能な発展科目): 1単位以上															
・一大学院共通科目(キャリア開発・データリテラシー科目): 1単位以上															
・一研究科共通科目(社会性): 2単位以上															
・基礎科目: 8単位以上(「持続可能な発展論基礎」は必修)															
・専門科目: 2単位以上(「演習A」は必修)															
・広島大学が開設する科目: 1単位以上															
・修士論文に関する科目: 15単位以上															
・一修士論文: 15単位															
【ライプツィヒ大学開設科目】															
・ベネシック科目: 12単位以上															
・一大学院共通科目(持続可能な発展科目): 1単位以上															
・一大学院共通科目(キャリア開発・データリテラシー科目): 1単位以上															
・一研究科共通科目(社会性): 2単位以上															
・基礎科目: 8単位以上(「持続可能な発展論基礎」は必修)															
・専門科目: 2単位以上(「演習A」は必修)															
・ライプツィヒ大学が開設する科目: 1単位以上															
・修士論文に関する科目: 15単位以上															
・一修士論文: 15単位															

専門科目		科目		単位数		履修人数		履修率		履修人数(割合)		履修率(割合)				
Sustainable Architecture A	②	広島大学	2	1												
			Sustainable Architecture B	1・2	①	広島大学	2	1								
			Energy Science and Technology	1・2	①	広島大学	2	1								
			Numerical Environmental Impact Assessment II	1・2	前	広島大学	2	1								
			Botany Resources for the Future	1・2	②	広島大学	2	1								
			Environmental Monitoring	1・2	後	広島大学	2	1								
			Biomass Energy Technology	1・2	③	広島大学	2	1								
			Ecosystem Conservation and Management Science	1・2	③	広島大学	2	1								
			Management and Conservation of Ecosystems	1・2	①	広島大学	2	1								
			Environmental Health Science	1・2	①	広島大学	2								兼1	
			Urban Environmental Science	1・2	②	広島大学	2								兼1	
演習A	1後		広島大学	2			4	4				兼3				
演習B	1前		広島大学	2			4	4				兼3				
小計(19科目)	—		0	40	0	4	4	0	0	0		兼7				
International Environmental Cooperation Studies	①	広島大学	2後	2	3	5										
			グローバルインターンシップ	2後	2	3	5									
			Developing Designing Ability	1・2	前	広島大学	2	1						兼2		
			国際協力プロジェクト演習	2前		広島大学	2			2				兼1		
			国際公務員実務演習A	2後		広島大学	2							兼1		
			国際公務員実務演習B	1・2	前	広島大学	2							兼4		
			International Environmental Cooperation Studies	1・2	①	広島大学	2			2	3				兼6	
			演習C	2後		広島大学	2			4	4				兼3	
			小計(8科目)	—		0	16	0	4	4	0	0	0		兼14	
			Energy Engineering and Management	1前	ライプツィヒ大学	5	2									
						Water Resources Management	1前	ライプツィヒ大学	5	1						
Sustainable Energy Economics	1前	ライプツィヒ大学				5	1			1						
Land Management	1前	ライプツィヒ大学				5	1			2				兼1		
Environmental and Biodiversity Economics	1前	ライプツィヒ大学				5	1									
小計(5科目)	—					0	25	0	3	0	4	0	0		兼2	
Integration Module	2後	ライプツィヒ大学				7.5	1									
			Project Management and Communication Skills	2後	ライプツィヒ大学	2.5	1							兼1		
			Material Flow Management	2後	ライプツィヒ大学	2.5	1									
			Sustainability Assessment of the Energiewende	2後	ライプツィヒ大学	2.5	1									
			Modelling in Resources Management	2後	ライプツィヒ大学	5	1							兼1		
			Entrepreneurship Management	2後	ライプツィヒ大学	5	1	1								
			Economics and Natural Resource Use and Conservation	2後	ライプツィヒ大学	5	1									
小計(7科目)	—		0	30	0	4	0	1	0	0		兼2				
修士論文	1～2	広島大学	15										兼3			
			Master's Thesis	1～2	ライプツィヒ大学	15	9	1	7					兼3		
			小計(2科目)	—		0	30	0	13	5	7	0	0		兼6	
合計(66科目)	—		0	189	0	13	5	7	0	0		兼66				
卒業要件及び履修方法																
(国際連携専攻/連携外国大学の修了要件) 修了に必要な単位数を60単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文及び最終試験に合格すること。																
○修了要件単位数: 60単位 ・そのうち、広島大学から30単位以上、ライプツィヒ大学から30単位以上修得すること ○広島大学をホーム大学とする学生の要修得単位数は以下のとおり																
【広島大学開設科目】																
・ベネシック科目: 12単位以上																
・一大学院共通科目(持続可能な発展科目): 1単位以上																
・一大学院共通科目(キャリア開発・データリテラシー科目): 1単位以上																
・一研究科共通科目(社会性): 2単位以上																
・基礎科目: 8単位以上(「持続可能な発展論基礎」は必修)																
・専門科目: 2単位以上(「演習A」は必修)																
・広島大学が開設する科目: 1単位以上																
・修士論文に関する科目: 15単位以上																
・一修士論文: 15単位																
【ライプツィヒ大学開設科目】																
・ベネシック科目: 12単位以上																
・一大学院共通科目(持続可能な発展科目): 1単位以上																
・一大学院共通科目(キャリア開発・データリテラシー科目): 1単位以上																
・一研究科共通科目(社会性): 2単位以上																
・基礎科目: 8単位以上(「持続可能な発展論基礎」は必修)																
・専門科目: 2単位以上(「演習A」は必修)																
・ライプツィヒ大学が開設する科目: 1単位以上																
・修士論文に関する科目: 15単位以上																
・一修士論文: 15単位																

- ・専門科目：30単位以上
- －Specialization 科目：15単位以上
（「Sustainable Energy Economics」，「Environmental and Biodiversity Economics」は必修）
- －Integration科目：15単位以上
（「Integration Module」，「Project Management and Communication Skills」は必修）

○ライプツィヒ大学をホーム大学とする学生の要修得単位数は以下のとおり

【ライプツィヒ大学開設科目】

- ・ベーシック科目：15単位
- ・修士論文に関する科目：15単位以上
- －Master's Thesis：15単位

【広島大学開設科目】

- ・専門科目：22単位以上
- －Specialization科目：15単位以上（「演習B」は必修）
- －Integration科目：7単位以上（「演習C」は必修）
- ・広島大学が開設する科目：8単位以上

- ・専門科目：30単位以上
- －Specialization 科目：15単位以上
（「Sustainable Energy Economics」，「Environmental and Biodiversity Economics」は必修）
- －Integration科目：15単位以上
（「Integration Module」，「Project Management and Communication Skills」は必修）

○ライプツィヒ大学をホーム大学とする学生の要修得単位数は以下のとおり

【ライプツィヒ大学開設科目】

- ・ベーシック科目：15単位
- ・修士論文に関する科目：15単位以上
- －Master's Thesis：15単位

【広島大学開設科目】

- ・専門科目：22単位以上
- －Specialization科目：15単位以上（「演習B」は必修）
- －Integration科目：7単位以上（「演習C」は必修）
- ・広島大学が開設する科目：8単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

○広島大学開設科目

【大学院共通科目】

- ・学生の履修機会の確保及び授業内容充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「1・2①②④」から「1・2②③④」に変更。併せて専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「教授1, 兼任・兼任6」から「教授1, 兼任・兼任4」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「データリテラシー」の配当年次を「1・2①②」から「1・2①②③④」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び授業内容充実のため、「人文社会系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②③」から「1・2②前後」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「ストレスマネジメント」の配当年次を「1・2②④」から「1・2前④」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「MOT入門」の配当年次を「1・2①③」から「1・2①前後」に変更。

【研究科共通科目】

- ・開講時期の見直しにより、「技術移転演習」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。

【基盤科目】

- ・教員の辞任、採用及び開講時期の見直しにより、「リサーチメソッド」の配当年次を「1①・③」から「1①・④」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「Fundamentals of Survey Methodology」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Numerical Environmental Impact Assessment I」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Geographic Information System Technology」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。

【Specialization科目】

- ・教員の昇任により、「Environmental Management」の専任教員等の配置を「教授1, 准教授4, 兼任・兼任2」から「教授2, 准教授3, 兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の昇任及び授業内容充実のため、「Development Technology」の専任教員等の配置を「教授1, 准教授4, 兼任・兼任3」から「教授2, 准教授3, 兼任・兼任5」に変更。
- ・教員の昇任により、「Sustainable Architecture A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1, 准教授0」に変更。
- ・教員の昇任により、「Sustainable Architecture B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1, 准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Numerical Environmental Impact Assessment II」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Environmental Monitoring」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。

・授業科目の充実のため、以下2科目を新規に追加。

- 【Environmental Health Science】(単位数: 選択2単位/配当年次: 1・2①/専任教員等の配置: 兼任・兼任1)
- 【Urban Environmental Science】(単位数: 選択2単位/配当年次: 1・2③/専任教員等の配置: 兼任・兼任1)
- ・教員の昇任により、「演習A」の専任教員等の配置を「教授3, 准教授5, 兼任・兼任3」から「教授4, 准教授4, 兼任・兼任3」に変更。
- ・教員の昇任により、「演習B」の専任教員等の配置を「教授3, 准教授5, 兼任・兼任3」から「教授4, 准教授4, 兼任・兼任3」に変更。

【Integration科目】

- ・教員の昇任により、「フィールドワーク」の専任教員等の配置を「教授3, 准教授5, 兼任・兼任3」から「教授4, 准教授4, 兼任・兼任3」に変更。
- ・教員の昇任により、「グローバルインターンシップ」の専任教員等の配置を「教授3, 准教授5, 兼任・兼任3」から「教授4, 准教授4, 兼任・兼任3」に変更。
- ・授業内容の充実のため、「Developing Designing Ability」の専任教員等の配置を「准教授1, 兼任・兼任1」から「准教授1, 兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び授業内容充実のため、「国際協力プロジェクト演習」の配当年次を「2後」から「2前後」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授2, 兼任・兼任1」に変更。
- ・授業内容の充実及び開講時期の見直しのため、「国際公務員実務演習B」の配当年次を「2後」から「1・2前」に変更。専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教員の昇任により、「International Environmental Cooperation Studies」の専任教員等の配置を「教授1, 准教授4, 兼任・兼任6」から「教授2, 准教授3, 兼任・兼任6」に変更。
- ・教員の昇任により、「演習C」の専任教員等の配置を「教授3, 准教授5, 兼任・兼任3」から「教授4, 准教授4, 兼任・兼任3」に変更。

【修士論文に関する科目】

- ・教員の昇任により、「修士論文」の専任教員等の配置を「教授3, 准教授5, 兼任・兼任3」から「教授4, 准教授4, 兼任・兼任3」に変更。

○ライプツィヒ大学開設科目

【ベーシック科目】

- ・授業担当教員の見直しにより、「Basics in Economic Sciences」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、「Basics in Sustainable Development」の専任教員等の配置を「教授3, 兼任・兼任1」から「教授2, 講師1, 兼任・兼任1」に変更。

【Specialization科目】

- ・授業担当教員の見直しにより、「Sustainable Energy Economics」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1, 講師1」に変更。
- ・授業担当教員の見直しにより、「Land Management」の専任教員等の配置を「講師1, 兼任・兼任1」から「講師2, 兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の辞任により、「Project Management and Communication Skills」の専任教員等の配置を「教授1, 兼任・兼任1」から「教授0, 兼任・兼任1」に変更。

【修士論文に関する科目】

- ・教員の辞任及び担当教員の追加により、「Master's Thesis」の専任教員等の配置を「教授9, 准教授1, 講師4, 兼任・兼任2」から「教授9, 准教授1, 講師7, 兼任・兼任3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
広島大学	0 科目	50 科目	0 科目	50 科目	0 科目	52 科目	0 科目	52 科目	
					[0]	[2]	[0]	[2]	
ライプツィヒ大学	0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	
					[0]	[0]	[0]	[0]	
共同開設科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	
					[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	広島大学						該当なし
2	ライプツィヒ大学						
3	共同開設科目						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	広島大学						該当なし
2	ライプツィヒ大学						
3	共同開設科目						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{66} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡			
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡			
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡			
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡			
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		516,466㎡ (516,466㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	516,466㎡ (516,466㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		56室	14室	19室	1室 (補助職員 9人)	6室 (補助職員 1人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻			8 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻	3,460,673 [1,290,310] (3,460,673 [1,290,310])	59,366 [24,323] (59,366 [24,323])	5,723 [5,717] (5,723 [5,717])	5,034 (5,034)	14,306 (14,306)	133 (133)	
計	3,460,673 [1,290,310] (3,460,673 [1,290,310])	59,366 [24,323] (59,366 [24,323])	5,723 [5,717] (5,723 [5,717])	5,034 (5,034)	14,306 (14,306)	133 (133)		
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		26,967㎡		2,369席	3,022,083冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		11,384㎡		野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学						学生募集停止学科数	78	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	640	—	1.06	1.06	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	480	学士(総合科学)	1.05	1.05	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	
国際共創学科	4	40	—	160	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	540	—	1.05	1.05	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	540	学士(文学)	1.05	1.05	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
教育学部	4	445	—	1,780	—	1.02	1.02	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	628	学士(教育学)	1.01	1.01	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	328	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	292	学士(教育学)	1.02	1.01	平成30	平成12	同上	
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	324	学士(教育学)	1.03	1.02	平成30	平成12	同上	
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	208	学士(心理学)	1.05	1.03	平成30	平成12	同上	
法学部	4	170	3年次20	720	—	1.05	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.04	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	140	学士(法学)	1.07	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田一丁目1番9号	
経済学部	4	195	3年次10	800	—	1.04	1.00	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	45	3年次5	190	学士(経済学)	1.01	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田一丁目1番9号	
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.04	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47		188	学士(理学)	1.03	1.00	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66		264	学士(理学)	1.03	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59		236	学士(理学)	1.04	1.05	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34		136	学士(理学)	1.06	1.08	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24		96	学士(理学)	1.04	1.00	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	716	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.05	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	716	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区隈一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.06	—	平成4	同上	
理学療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.01	1.06	—	平成4	同上	
作業療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.01	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.00	—	平成21	—	
歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区隈一丁目2番3号	

口腔健康科学科																						
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.00	—	平成21	同上												
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上												
薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—												
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	同上												
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.04	—	平成18	同上												
工学部	4	445	3年次15	1,810	—	1.03	1.03	—	昭和24	—												
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上											平成30年度学生募集停止	
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上												平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上												平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	1.03	—	平成30	同上												
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.05	1.04	—	平成30	同上												
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	468	学士(工学)	1.00	1.02	平成30	平成13	同上												
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.06	1.03	—	平成30	同上												
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.08	1.04	—	昭和54	—												
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.08	1.04	—	昭和54	同上												
情報科学部	4	80	3年次5	330	—	1.07	1.05	—	平成30	—												
情報科学科	4	80	3年次5	330	学士(情報科学)	1.07	1.05	—	平成30	同上												
大学全体	—	2,336	80	9,930	—	—	—	—	—	—												
人間社会科学研究所	前期2	420	—	840	—	0.86	0.69	—	令和2	—												
後期3	135	—	270	—	—	0.82	0.70	—	令和2	—												
専2	30	—	60	—	—	0.88	0.96	—	令和2	—												
専3	20	—	40	—	—	0.82	0.75	—	令和2	—												
修2	2	—	2	—	—	1.00	—	—	令和2	—												
人文社会科学専攻(博士課程)	前期2	257	—	514	修士(文学)	0.75	0.54	—	令和2	同上												
後期3	85	—	170	—	—	0.65	0.54	—	令和2	—												
教育科学専攻(博士課程)	前期2	163	—	326	修士(教育学)	1.02	0.91	—	令和2	同上												
後期3	50	—	100	—	—	1.12	0.98	—	令和2	—												
教職開発専攻(専門職学位課程)	専2	30	—	60	教職修士(専門職)	0.88	0.96	—	令和2	同上												

実務法学専攻 (専門職学位課程)	専3	20	—	40	法務博士(専門職)	0.82	0.75	—	令和2	広島県広島市中区東千田町一丁目1番69号	
広島大学・グラーツ 大学国際連携サステイ ナビリティ学専攻 (修士課程)	修2	2	—	4	修士(学術)	1.00	1.00	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	入学時期：10月
先進理工系科学研究科	前期2	449	—	898	—	1.12	1.09	—	令和2	—	
	後期3	128	—	256	—	0.66	0.50	—	令和2	—	
	修2	2	—	2	—	1.00	—	—	令和2	—	
先進理工系科学専攻 (博士課程)	前期2	449	—	898	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 修士(国際協力学)	1.12	1.09	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
	後期3	128	—	256	修士(学術) 博士(理学) 博士(工学) 博士(情報科学) 博士(国際協力学)	0.66	0.50	—	令和2	—	
広島大学・ライブ ツイヒ大学国際連携サ ステイナビリティ学専 攻 (修士課程)	修2	2	—	4	修士(学術)	1.00	1.00	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	入学時期：10月
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.95	0.94	—	平成31	—	
	後期3	70	—	210	—	0.46	0.40	—	平成31	—	
統合生命科学専攻 (博士課程)	前期2	170	—	340	修士(理学) 修士(工学) 修士(農学)	0.95	0.94	—	平成31	広島県東広島市鏡山1丁目4番4号 広島県東広島市鏡山1丁目3番1号 広島県東広島市鏡山1丁目7番1号	
	後期3	70	—	210	修士(学術) 博士(理学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	0.46	0.40	—	平成31	—	
医系科学研究科	博4	97	—	291	—	1.09	1.04	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.98	1.02	—	平成31	—	
	後期3	25	—	75	—	1.09	1.32	—	平成31	—	
医歯薬学専攻 (博士課程)	博4	97	—	291	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.09	1.04	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学)	0.98	1.02	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
	後期3	25	—	75	修士(学術) 博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	1.09	1.32	—	平成31	—	
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18	—	令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人文学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13	—	令和2年度学生募集停止
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止

教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
学習開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	博士(心理学) 修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県広島市緑山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(マネジメント)	—	—	—	平成12		令和2年度学生募集停止
理学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県広島市緑山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
物理科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
数理分子生命理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成10	広島県広島市緑山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止

医歯薬保健学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(医学)	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(歯学)	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(薬学)	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(学術)	—	—	—	—	—	—	—	—
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械物理工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(医学)	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(歯学)	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(薬学)	—	—	—	—	—	—	—	—
					博士(学術)	—	—	—	—	—	—	—	—
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

大学院全体	-	1,624	-	3,440	-	-	-	-	-	-	-
大学の名称	〇〇短期大学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科筆数		備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1) -① 担当教員表

<広島大学>

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 峻屹 <令和2年4月> 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Regional and Urban Engineering Tourism Policy 演習A 演習B 演習C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文
専	教授	西名 大作 <令和2年4月> 博士(工学)
		演習A 演習B 演習C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 峻屹 <令和2年10月> 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Regional and Urban Engineering Tourism Policy 演習A 演習B 演習C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文
専	教授	西名 大作 <令和2年10月> 博士(工学)
		演習A 演習B 演習C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文

専	教授	松村 幸彦 〈令和2年4月〉 博士（工学）	専	教授	松村 幸彦 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文			演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文
専 (調)	准教授	久保田 徹 〈令和2年4月〉 博士（工学）	専 (調)	教授	久保田 徹 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Sustainable Architecture A Sustainable Architecture B 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文			Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Sustainable Architecture A Sustainable Architecture B 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文
専	准教授	塚井 誠人 〈令和2年4月〉 博士（工学）	専	准教授	塚井 誠人 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文			演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインター ンシップ 修士論文

専	准教授	TRAN DANG XUAN 〈令和2年4月〉 博士（農学）	TRAN DANG XUAN 〈令和2年10月〉 博士（農学）
		Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Botany Resources for the Future Environmental Monitoring Biomass Energy Technology 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文	Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Botany Resources for the Future Environmental Monitoring Biomass Energy Technology 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文
専	准教授	保坂 哲朗 〈令和2年4月〉 博士（農学）	保坂 哲朗 〈令和2年10月〉 博士（農学）
		Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Ecosystem Conservation and Management Science Management and Conservation of Ecosystems 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文	Environmental Management Development Technology 国際協カプロジェクト演習 International Environmental Cooperation Studies Ecosystem Conservation and Management Science Management and Conservation of Ecosystems 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文

	専	李 漢洙 〈令和2年4月〉 博士（工学）	李 漢洙 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		Environmental Management Development Technology Developing Designing Ability International Environmental Cooperation Studies Energy Science and Technology Numerical Environmental Impact Assessment I Numerical Environmental Impact Assessment II 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文	Environmental Management Development Technology Developing Designing Ability 国際協カプロジェクト演習 International Environmental Cooperation Studies Energy Science and Technology Numerical Environmental Impact Assessment I Numerical Environmental Impact Assessment II 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文
	兼担	藤原 章正 〈令和2年4月〉 博士（工学）	藤原 章正 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		Environmental Management Developing Designing Ability International Environmental Cooperation Studies Transportation Engineering Transportation Planning 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文	Environmental Management Developing Designing Ability International Environmental Cooperation Studies Transportation Engineering Transportation Planning 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文

兼担	教授	片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国)
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace
兼担	教授	関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士 (文学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health International Environmental Cooperation Studies
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士 (理学)
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace

兼担	教授	片柳 真理 〈令和2年10月〉 (PhD in Law) (英国)
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace 国際公務員実務演習 B
兼担	教授	関 恒樹 〈令和2年10月〉 博士 (文学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年10月〉 農学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年10月〉 博士 (理学)
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace

兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士（工学）
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace
		International Environmental Cooperation Studies
		持続可能な発展論基礎
		国際協力プロジェクト演習
国際公務員実務演習A		
国際公務員実務演習B		
兼担	教授	吉田 雄一朗 〈令和2年4月〉 Ph. D (Economics) (米国)
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace
		International Environmental Cooperation Studies
兼担	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士（医学）
		Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace
兼担	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士（学術）
		ダイバーシティの理解
兼担	教授	大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士（人文科学）
		ダイバーシティの理解

兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		持続可能な発展論基礎
		国際公務員実務演習A
兼担	教授	吉田 雄一朗 〈令和2年10月〉 Ph. D (Economics) (米国)
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace
		国際協力プロジェクト演習
兼担	教授	川野 徳幸 〈令和2年10月〉 博士（医学）
		Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	教授	吉田 修 〈令和2年10月〉 法学修士
		Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace
兼担	教授	坂田 桐子 〈令和2年10月〉 博士（学術）
		ダイバーシティの理解
兼担	教授	大池 真知子 〈令和2年10月〉 博士（人文科学）
		ダイバーシティの理解

兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health International Environmental Cooperation Studies
兼担	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health 医療情報リテラシー
兼担	教授	森山 (奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士 (医学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士 (教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士 (理学)
		データリテラシー
兼担	教授	工藤 美樹 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー

兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年10月〉 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年10月〉 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	教授	清水 欽也 〈令和2年10月〉 P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health 国際公務員実務演習 B
兼担	教授	田中 純子 〈令和2年10月〉 医学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health 医療情報リテラシー
兼担	教授	森山 (奥本) 美知子 〈令和2年10月〉 博士 (医学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	馬場 卓也 〈令和2年10月〉 博士 (教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年10月〉 博士 (理学)
		データリテラシー
兼担	教授	

兼任	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士（医学）
		医療情報リテラシー
兼任	教授	粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー
兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士（理学）
		人文社会系キャリア マネジメント
兼任	教授	伊藤 孝夫 〈令和2年4月〉 博士（工学）
		MOT入門
		MOTとベンチャービジ ネス論 技術移転論
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士（医学）
		医療情報リテラシー
兼任	教授	高品 徹 〈令和2年4月〉 博士（工学）
		技術移転演習

兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年10月〉 博士（理学）
		人文社会系キャリア マネジメント
兼任	教授	伊藤 孝夫 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		MOT入門
		MOTとベンチャービジ ネス論 技術移転論
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年10月〉 博士（医学）
		医療情報リテラシー
兼任	教授	高品 徹 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		技術移転演習
兼任	教授	保田 浩志 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		Hiroshimaから世界平 和を考える
兼任	教授	吉村 健一 〈令和2年10月〉 博士（保健学）
		医療情報リテラシー
兼任	教授	三原 直樹 〈令和3年4月〉 博士（医学）
		医療情報リテラシー

兼担	准教授	鹿嶋 小緒里 〈令和2年4月〉 博士（環境学）	兼担	准教授	鹿嶋 小緒里 〈令和2年10月〉 博士（環境学）
		Development Technology 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文			Development Technology Environmental Health Science 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文
兼担	准教授	カ石 真 〈令和2年4月〉 博士（工学）	兼担	准教授	カ石 真 〈令和2年10月〉 博士（工学）
		Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Fundamentals of Survey Methodology Risk Management Technology 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文			Environmental Management Development Technology International Environmental Cooperation Studies Fundamentals of Survey Methodology Risk Management Technology 演習 A 演習 B 演習 C フィールドワーク グローバルインターンシップ 修士論文
兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士（国際公共政策）	兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年10月〉 博士（国際公共政策）
		Hiroshimaから世界平和を考える			Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士（教育学）	兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年10月〉 修士（教育学）
		Hiroshimaから世界平和を考える			Hiroshimaから世界平和を考える
兼担	准教授	（ヘイズ）櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士（教育理論政策学） （米国）	兼担	准教授	（ヘイズ）櫻井 里穂 〈令和2年10月〉 博士（教育理論政策学） （米国）
		ダイバーシティの理解			ダイバーシティの理解

兼任	准教授	宮尾 淳一 〈令和2年4月〉 工学博士
		データリテラシー
兼任	准教授	森野 豊之 〈令和2年4月〉 博士（医学）
		医療情報リテラシー
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士（医学）
		医療情報リテラシー
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 PhD (Management) (米国)
		アントレプレナー シップ概論

兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年10月〉 博士（医学） 医療情報リテラシー
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年10月〉 PhD (Management) (米国) アントレプレナー シップ概論
兼任	准教授	友次 晋介 〈令和2年10月〉 博士（法学） Hiroshimaから世界平 和を考える
兼任	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年10月〉 PhD (Social Sciences) (英国) Hiroshimaから世界平 和を考える
兼任	准教授	福井 敬祐 〈令和3年4月〉 博士（理学） データリテラシー
兼任	准教授	SHARIFI AYYOUB 〈令和2年10月〉 博士（工学） Urban Environmental Science International Environmental Cooperation Studies
兼任	准教授	NIRAJ PRAKASH JOSHI 〈令和3年4月〉 博士（学術） Developing Designing Ability

兼担	助教	張 潤森 〈令和2年4月〉 博士（工学） Development Technology Geographic Information System Technology
兼担	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士（文学） ダイバーシティの理 解
兼担	助教	ISLAM MOINUL 〈令和2年4月〉 博士（工学） リサーチメソッド

兼担	准教授	丸山 隆央 〈令和2年10月〉 修士（経済学） 国際公務員実務演習 B
兼担	准教授	中矢 礼美 〈令和2年10月〉 博士（教育学） International Environmental Cooperation Studies
兼担	講師	三木 大樹 〈令和2年10月〉 博士（医学） 医療情報リテラシー
兼担	助教	張 潤森 〈令和2年10月〉 博士（工学） Development Technology Geographic Information System Technology
兼担	助教	北梶 陽子 〈令和2年10月〉 博士（文学） ダイバーシティの理 解
兼担	助教	赤瀬 大 〈令和3年4月〉 博士（理学） データリテラシー
兼担	助教	RAMASAMY SARAVANAKUMAR 〈令和3年4月〉 博士（数学） （インド） データリテラシー
兼担	助教	服部 稔 〈令和2年10月〉 博士（学術） ストレスマネジメン ト
兼担	助教	VU HA THU 〈令和2年10月〉 博士（学術） リサーチメソッド
兼担	助教	TRAN ANH DUC 〈令和3年4月〉 博士（学術） リサーチメソッド

					VARGHESE VARUN <令和3年4月> Doctor of Philosophy (インド)
				兼任 助教	Fundamentals of Survey Methodology Development Technology
					NGUYEN VAN QUAN <令和2年10月> 博士 (農学)
				兼任 助教	Development Technology
					吉野 宏志 <令和3年4月> 修士 (言語学)
				兼任 助教	国際公務員実務演習 B
					AHANA SARKAR <令和3年4月> Doctor of Philosophy (インド)
				兼任 助教	International Environmental Cooperation Studies
					TROSELJ JOSKO <令和2年10月> 博士 (工学)
				兼任 助教	International Environmental Cooperation Studies
兼任	教授	小笹 晃太郎 <令和2年4月> 博士 (医学)	兼任	教授	小笹 晃太郎 <令和2年10月> 博士 (医学)
		医療情報リテラシー			医療情報リテラシー
兼任	教授	田中 剛 <令和2年4月> 博士 (医学)			
		医療情報リテラシー			
兼任	教授	原田 淳 <令和2年4月> 博士 (工学)	兼任	教授	原田 淳 <令和2年10月> 博士 (工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネ ジメント			ストレスマネジメント 理工系キャリアマネ ジメント

兼任	教授	楠田 哲也 〈令和2年4月〉 工学博士
		環境原論A 環境原論B
兼任	准教授	川田 恵介 〈令和2年4月〉 博士（経済学）
		データビジュアライ ゼーション A データビジュアライ ゼーション B
兼任	講師	三角 幸子 〈令和2年4月〉 修士（経営学）
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace

兼任	教授	楠田 哲也 〈令和2年10月〉 工学博士
		環境原論A 環境原論B
兼任	教授	志賀 賢治 〈令和2年10月〉 学士（法学）
		Hiroshimaから世界平 和を考える
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年10月〉 学士（工学）
		医療情報リテラシー
兼任	教授	森 玲子 〈令和3年4月〉 M.A(Social Science)
		人文社会系キャリア マネジメント
兼任	教授	竹内 正興 〈令和3年4月〉 博士（教育学）
		人文社会系キャリア マネジメント
兼任	准教授	川田 恵介 〈令和2年10月〉 博士（経済学）
		データビジュアライ ゼーション A データビジュアライ ゼーション B
兼任	講師	STYCZEK URSZULA MARIA 〈令和3年4月〉 博士（学術）
		Hiroshimaから世界平 和を考える

<ライプツィヒ大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国 (調)	教授 相当	Bruckner, Thomas
		Basics in Sustainable Development
		Energy Engineering and Management
		Sustainable Energy Economics
		Integration Module Sustainability Assessment of the Energiewende Modelling in Resources Management Master's Thesis
外国	教授 相当	Gawel, Eric
		Basics in Economic Sciences Master's Thesis
外国	教授 相当	Holländer, Robert
		Basics in Sustainable Development
外国	教授 相当	Pahl, Burkhard
		Project Management and Communication Skills Master's Thesis
外国	教授 相当	Quaas, Martin
		Environmental and Biodiversity Economics Economics and Natural Resource Use and Conservation Master's Thesis
外国	教授 相当	Schnabl, Gunther
		Basics in Economic Sciences Master's Thesis

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
外国 (調)	教授 相当	Bruckner, Thomas
		Basics in Sustainable Development
		Energy Engineering and Management
		Sustainable Energy Economics
		Integration Module Sustainability Assessment of the Energiewende Modelling in Resources Management Master's Thesis
外国	教授 相当	Gawel, Eric
		Master's Thesis
外国	教授 相当	Holländer, Robert
		Master's Thesis
外国	教授 相当	Quaas, Martin
		Environmental and Biodiversity Economics Economics and Natural Resource Use and Conservation Master's Thesis
外国	教授 相当	Schnabl, Gunther
		Master's Thesis

外国	教授相当	Thrän, Daniela
		Energy Engineering and Management
		Material Flow Management Master's Thesis
外国	教授相当	Dornberger, Utz
		Basics in Economic Sciences
		Entrepreneurship Management
		Master's Thesis
外国	教授相当	Engel, Ulf
		Basics in Social Sciences - International Studies
		Master's Thesis
外国	教授相当	Nissen, Sylke
		Basics in Sustainable Development Master's Thesis
外国	准教授相当	Lehmann, Paul
		Master's Thesis
外国	講師相当	Rietdorf, Ute
		Basics in Social Sciences - International Studies Master's Thesis
外国	講師相当	Meyer, Burghard
		Land Management Master's Thesis
外国	講師相当	Berrones-Flemmig, Claudia Nelly
		Entrepreneurship Management
		Master's Thesis
外国	講師相当	Geyler, Stefan
		Water Resources Management Master's Thesis

外国	教授相当	Thrän, Daniela
		Energy Engineering and Management
		Material Flow Management Master's Thesis
外国	教授相当	Dornberger, Utz
		Basics in Economic Sciences
		Entrepreneurship Management
		Master's Thesis
外国	教授相当	Engel, Ulf
		Basics in Social Sciences - International Studies
		Master's Thesis
外国	教授相当	Nissen, Sylke
		Basics in Sustainable Development Master's Thesis
外国	教授相当	Weiß, Gregor
		Basics in Economic Sciences Master's Thesis
外国	准教授相当	Lehmann, Paul
		Master's Thesis
外国	講師相当	Rietdorf, Ute
		Basics in Social Sciences - International Studies Master's Thesis
外国	講師相当	Meyer, Burghard
		Land Management Master's Thesis
外国	講師相当	Berrones-Flemmig, Claudia Nelly
		Entrepreneurship Management
		Master's Thesis
外国	講師相当	Geyler, Stefan
		Water Resources Management Master's Thesis

			外国	講師相当	Lauternschläger, Sabine
			外国	講師相当	Basics in Sustainable Development Master's Thesis
			外国	講師相当	Hendrick, Kondziella
			外国	講師相当	Sustainable Energy Economics Master's Thesis
			外国	講師相当	Tillman, Schenck
			外国	講師相当	Land Management Master's Thesis
外国	教授相当	Fischer, Jens-Uwe	外国	教授相当	Fischer, Jens-Uwe
		Land Management Master's Thesis			Land Management Master's Thesis
外国	教授相当	Klauer, Bernd	外国	教授相当	Klauer, Bernd
		Basics in Sustainable Development Water Resources Management Master's Thesis			Basics in Sustainable Development Water Resources Management Master's Thesis
外国	講師相当	Drechsler, Martin	外国	講師相当	Drechsler, Martin
		Modelling in Resources Management			Modelling in Resources Management
外国	講師相当	Saupe, Gerit	外国	講師相当	Saupe, Gerit
		Project Management and Communication Skills			Project Management and Communication Skills

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<広島大学>

【令和3年度】

(専任教員関係(教員審査省略))
・久保田 徹 准教授:教授に昇任

(兼任教員関係)

・工藤 美樹 教授:削除
・有廣 光司 教授:削除
・粟井 和夫 教授:削除
・保田 浩志 教授:追加
・吉村 健一 教授:追加
・三原 直樹 教授:追加
・宮尾 淳一 准教授:削除
・森野 豊之 准教授:削除
・友次 晋介 准教授:追加
・VAN DER DOES LULI 准教授:追加
・福井 敬祐 准教授:追加
・SHARIFI AYYOUB 准教授:追加
・NIRAJ PRAKASH JOSHI 准教授:追加
・丸山 隆央 准教授:追加
・中矢 礼美 准教授:追加
・三木 大樹 講師:追加
・ISLAM MOINUL 助教:削除
・赤瀬 大 助教:追加
・RAMASAMY SARAVANAKUMAR 助教:追加
・服部 稔 助教:追加
・VU HA THU 助教:追加
・TRAN ANH DUC 助教:追加
・VARGHESE VARUN 助教:追加
・NGUYEN VAN QUAN 助教:追加
・吉野 宏志 助教:追加
・AHANA SARKAR 助教:追加
・TROSELJ JOSKO 助教:追加

(兼任教員関係)

・田中 剛 教授:削除
・志賀 賢治 教授:追加
・阿部 伸一 教授:追加
・森 玲子 教授:追加
・竹内 正興 教授:追加
・三角 幸子 講師:削除
・STYCZEK URSZULA MARIA 講師:追加

<ライプツィヒ大学>

【令和3年度】

・教授相当1名(WeiB, Gregor)を追加, 1名(Pahl, Burkhard)を削除
・講師相当3名(Lauternschläger, Sabine, Hendrick, Kondziella, Tillman, Schenck)を追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員（研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
3	5	0	0	8	0	4	4	0	0	8	0
(3)	(5)	(0)	(0)	(8)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
8	0	0				8	0	0			
(8)	(0)	(0)				(8)	(0)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
4	4	0	0	8	0	4	4	0	0	8	0
[1]	[▲1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[▲1]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
8	0	0				8	0	0			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(注) ・ 本様式は、当該国際連携学科等に所属し授業科目を担当する専任教員（同一の学部又は研究科内の他の学科又は専攻の専任教員研究指導教員等）が兼ねて担当する場合も含める）について記入してください。

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

— 人

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (令和元年)	協定の締結にあたっては、申請書に示されている内容を確実に反映させること。	遵守事項	申請書に記載した内容を反映させた協定書を締結した。	履行済
	「SDGsに関する基礎的知識を身に付けている学生を入学試験の段階で書類選考により選別」するとしているが、どのような内容を書類選考で確認するのか明確でないため、学生が受験する際に不利益とならないように学生募集すること。	遵守事項	学生募集に際し、SDGsに関する基礎的知識として、「環境システム学・環境工学に関する基礎的知識等」を確認する旨を本学ウェブサイト上で周知した。その上で、入学者の選抜に当たっては、相手大学であるライプツィヒ大学の教員との第一次選考（合同入試）において、出願時の「志望理由書、履歴書、成績証明書」等を基に書類審査を双方の大学で行った。その後、第二次選考を実施し、提出された「研究計画書」等により、上記の基礎的知識を含め、アドミッション・ポリシーに適合する人物か否かの最終確認を行った。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<先進理工系科学研究科 広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サステイナビリティ学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>本専攻に入学した学生(10月入学)は、ホーム大学で半年間学んだ後(第1セメスター)、相手大学において1年間修学し(第2・第3セメスター)、最終セメスターにホーム大学に戻り、修士論文を作成するスケジュールとなっているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により渡航制限措置が取られたため、当初予定していた相手大学へ留学しての授業が実施できない状況となった。(第2セメスターの科目のうち、広島大学開設科目50単位(ベーシック科目16単位、専門科目34単位)、ライプツィヒ大学開設科目25単位(専門科目)。)</p> <p>このため、計画を変更し、広島大学に渡航予定であったライプツィヒ大学をホーム大学とする学生は、オンラインにより広島大学の科目を履修した。なお、広島大学をホーム大学とする学生は、本人の都合により、令和2年10月から休学している(R3.9に退学)。</p> <p>オンラインでの履修への変更にあたっては、本学とライプツィヒ大学で、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた今後の方向性などについて協議を行い、第2セメスターの授業をオンラインや録画講義による対応とすることを確認した。また、指導教員から学生に対してオンラインで丁寧に説明を行うとともに、学生に対して、ヨーロッパ時間や録画講義でも受講が可能な科目を明示した時間割を配付した。</p> <p>オンラインでの履修にあたっては、対面授業に相当する教育効果が得られるよう、Microsoft Teamsでオンラインディベートを実施し、学生間の交流が深まるよう促したり、課題に対する学習成果をオンラインで発表させ、学生同士の議論や教員からのアド第2セメスターの開講科目のうち、学生が履修した科目は、「Environmental Management」、「Sustainable Architecture A」、「Energy Science and Technology」、「Management and Conservation of Ecosystems」、「International Environmental Cooperation Studies」、「演習B」である。</p> <p>オンラインでの履修にあたっては、対面授業に相当する教育効果を担保するため、以下の工夫を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時双方向型で、各回の授業に関する学生からの質問に回答するとともに、学生とのディスカッションを実施する回を設け、その内容を収録し、オンデマンド動画として配信した。時差等の事情で同時双方向型のディスカッションに参加できない学生に対しては、メールやチャットによる事前質問を受け付けた。 ・演習の課題を学生に事前に準備させた上で、授業中はオンラインで各学生の進捗を確認し、全体あるいは個別に解説・アドバイスをを行った。 ・Microsoft Teamsでオンラインディベートを実施する等、学生間の交流が深まるようにした。 ・Microsoft Teamsのチャット機能を利用して学生の意見を集め、課題に対する主な意見や分布などを講義中に紹介し、改めて意見をチャットに書き込んでもらった。 ・課題に対する学習の成果をオンラインで発表し、学生同士の議論や教員からのアドバイスを受けて最終レポートを作成させた。 <p>なお、広島大学ではコロナ禍を受けて、授業等の実施に関する方針(教員向け)を作成し、オンライン授業において対面授業に相当する教育効果が得られるような授業の構成や実施方法の例を示すなどの対応をしている。</p> <p>相手大学への留学ができなかったため、指導体制については、学生に対し、ホーム大学の指導教員が相手大学の副指導教員と連携を取りながら、引き続き指導を行った。</p>

ライブツィヒ大学の事務局とメールにより、以下のとおり協議等を行った。

日時: 令和3年2月10日～2月20日(メール)

協議事項: 渡航・入国制限に関する情報交換及び日本とヨーロッパとの時差を考慮した対応等。双方の大学において、オンライン授業の提供準備が整っていることを確認した。

日時: 令和3年3月9日～3月24日(メール)

協議事項: 新型コロナウイルス感染症の拡大による入国制限が解除されるまで、第2セメスターの授業をオンラインや録画講義による対応とすること、また、渡航制限により、各学生の修了予定時期に変更がないか、本人の意向を含め、確認を行った。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況(開催日・議題等)を記載してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・自己点検・評価委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・必要に応じて開催

c 委員会の審議事項等

- (1) 教育活動に関する事
- (2) 研究活動に関する事
- (3) 社会貢献に関する事
- (4) 管理運営に関する事
- (5) 中期目標、中期計画及び年度計画に関する事
- (6) 外部評価に関する事
- (7) 教員の個人評価に関する事
- (8) 研究科の情報集積と分析に関する事
- (9) その他点検・評価に関する事

② 実施状況

a 実施内容

- ①新任教員研修プログラム
- ②学生による授業改善アンケート

b 実施方法

- ①ガイダンス、講義
- ②学生情報システム「もみじ」を活用したアンケート

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①新任教員研修プログラム・・・・・・・・・・年間を通して実施（新任教員対象）
新任教員は、「必修」5科目と「選択必修」2科目以上受講する。
- ②学生による授業改善アンケート・・・・・・・・・・年4回実施（ターム終了ごと）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生によるアンケートに基づき、授業の改善を図るとともに、シラバスに反映させている。
また、本専攻独自のFD実施に向けて、今後の検討を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全学で実施する授業改善アンケートによりターム終了ごとに実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧を可能となっている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

概ね当初の予定どおり順調に履行している。策定したアドミッション・ポリシーに基づき、両大学合同の入学者選抜を実施し、令和2年10月に広島大学をホーム大学とする学生、ライプツィヒ大学をホーム大学とする学生各1名を受け入れた。今後は、カリキュラム・ポリシーに沿って学生の教育を行い、SDGs達成に向けた地域と世界の喫緊の課題に対して、理工学的アプローチで研究や実務を遂行できる能力を有する人材を育成する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年3月公表予定

b 公表方法

・本専攻の年次報告書を作成し、ウェブサイト上で公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有]

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。